

みずおか俊一参議院議員が新型コロナウイルス感染症対策 に関わって、文科大臣を厳しく追及！



6月4日、参議院文教科学委員会において、日政連(兵政連会長)の水岡俊一参議院議員が質疑に立った。水岡議員は、「オンライン教育での著作権の問題」「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用」「今後の学校のあり方」などについて萩生田文部科学大臣を厳しく追及した。(要旨)

学校現場における著作物の利用について

(水岡) 今回のコロナ禍の状況下において、オンライン授業などで「これが楽譜ですよ」といって、それを示して、生徒たちがダウンロードをするというようなことが起きている。今年度は無償だが、来年度からはどうなるのか。

(政府参考人) 授業目的の場合、著作権の許諾は必要ない。来年度以降は、あらかじめ学校の授業という公共性のある場での著作権処理というのを包括的に一定の金額を支払いながらおこなっていく。だから、ルーラルの中に収まっているものであれば心配を掛けるようなことはない。

授業で配信するのは問題ないが、授業で使ったからといって、教職員がリンクを貼ってしまったらいけない。あくまで授業という範囲の中でおこなわれる著作物の処理については一定程度、現場の皆さんに心配を掛けないように対応している。

(水岡) 何が大丈夫で何が駄目なのかを、しっかりと学校で教育をすすめていく人たちに情報伝達してほしい。

(政府参考人) 制度の本格的実施にむけては、学校現場、教育委員会と具体例を交えながら周知していく必要があると思っている。

(水岡) 今後の情報伝達をしっかりとっていたらよかった。

学校における専門スタッフ等の活用について

(水岡) 先日、学校における専門スタッフ等の活用に関する調査に基づいて総務省より勧告が出された。(5月15日勧告、総務省ホームページ参照) 直接勧告を受けた大臣としてどのような感じにいるのか。

(文科大臣) 別室でまったく教職員との接触がないソーシャルワーカーもなかなかその力を発揮できない。予算を付けて人は配置したけれど、どうすれば有効に活用できるかということとを深掘りする必要があるのだと思う。

すなわちチームの中に入っているだけで、一緒に子どもたちに向き合っても、ええような専門職として、サポートに入ってもらえない体制に欠けていたのでは、ないかということ、今反省しているところである。

文科省としては、学校が再開し、専門性を発揮していただくために、学校のチームの一員としてしっかりと対応できる環境づくりをサポートしていきたい。

(水岡) スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーが本当に子どもたちの助けになれるような活用ができていないとすれば、これから考えていかなければいけない。

スクールカウンセラーが実際に学校現場にいる時間は少ない。週1回学校に来るスクールカウンセラーの方に、子どもたちも相談しにくいということがあるとすれば、その状況を変えなければいけない。つまり、学校にスクールカウンセラーが常駐するということが必要になる。

そこで、第二次補正予算で、実際に教員3,100人、学習指導員61,200人、スクール・サポート・スタッフ20,600人の配置をすると文科省としての決意を示されたが、

今のスクールカウンセラーの話と結び付けて考えると、今回、全国に教員を3,100人配置しても、本当に学校現場に十分に行き渡るということには程遠い。

今申し上げたい問題点の一つは、学校現場に協力してもらえない人材が本当にいない。これをどのようにしていくか。今後は加配というような考え方で追いつかない。学級編制の基準を変えていかなければならない。

(文科大臣) 少人数学級については、国のものに基づき(義務標準法)、国の加配教員等も活用しつつ、2019年度では63の都道府県、指定都市が独自の少人数学級にとりくんでおり、それぞれの地域の状況をふまえた創意工夫が考えられているものも思っている。

今回のコロナを機に、距離を2メートルあけると言っても、40人学級では物理的にできない。ICT環境がすすみ、机の上にパソコンを置くということになれば、今の子どもたちの机の大きさが、本当に小学校、中学校の標準でいいのかということなどの学校のあり方をしっかりと考えていきたい。

学校での感染者について

(水岡) 私は現場から、北九州市の該当する学校ではこれまで感染対策を十分におこなってきたと聞いている。消毒、子どもたちの手洗い、距離を置く、その

兵教組は、これまで、「高校授業料」「幼児教育・保育」無償化の適用除外、「外国人学校振興費補助」の減額がおこなわれる中、署名活動・カンパ等にとりくんできた。

「緊急事態宣言」が延長される中、5月14日、川原中央執行委員長と森戸書記長が、学校法人・兵庫朝鮮学園に対して、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク3,000枚を届けた。

金理事長から「子どもたちの明るい未来のため、多文化共生社会実現のために、いつもご支援いただいている兵庫県教職員組合の皆様に感謝申し上げます」とお礼の言葉が述べられた。

兵教組は、これまで「高校授業料」「幼児教育・保育」無償化の適用除外、「外国人学校振興費補助」の減額がおこなわれる中、署名活動・カンパ等にとりくんできた。

「緊急事態宣言」が延長される中、5月14日、川原中央執行委員長と森戸書記長が、学校法人・兵庫朝鮮学園に対して、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク3,000枚を届けた。

金理事長から「子どもたちの明るい未来のため、多文化共生社会実現のために、いつもご支援いただいている兵庫県教職員組合の皆様に感謝申し上げます」とお礼の言葉が述べられた。

兵教組は、これまで「高校授業料」「幼児教育・保育」無償化の適用除外、「外国人学校振興費補助」の減額がおこなわれる中、署名活動・カンパ等にとりくんできた。

「緊急事態宣言」が延長される中、5月14日、川原中央執行委員長と森戸書記長が、学校法人・兵庫朝鮮学園に対して、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク3,000枚を届けた。

金理事長から「子どもたちの明るい未来のため、多文化共生社会実現のために、いつもご支援いただいている兵庫県教職員組合の皆様に感謝申し上げます」とお礼の言葉が述べられた。

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合代表者 川原芳和
編集人 西山修
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2020/6・15

No.2001

2面

なぜ教育研究(教研)活動にとりくむの？その③
・学校・園再開をむかえた教職員のみなさんへ
・ラッセホール 新型コロナウイルス感染症対策

兵庫県学校厚生会

預金積立プラン

預金事業の詳細はコチラ

無理なく自由に貯めたい人に

積立預金

【6月1日現在】
年利率 0.50%
(税引後年利率0.398%)

●毎月の積立金は1,000円から自由に設定できます(1,000円単位)。

目標を持って確実に貯めたい人に

すまいる積立預金

【6月1日現在】
年利率 0.50%
(税引後年利率0.398%)

●毎月の積立金は5,000円から自由に設定できます(1,000円単位)。
●ボーナスからの引去りを希望の場合は10,000円単位で設定できます。

「手続きかんたんシステム」の利用・登録はコチラ

◆問合せ先(一財)兵庫県学校厚生会 業務部業務1課 預金係 TEL(078)331-9974

なぜ、教育研究（教研）活動にとりくむの？その③

兵庫教育文化研究所発行
「こどもと教育 No162」モニター
の声

「今、教育研究活動を問う！」を読み、日々の教育活動を考えるきっかけとなりました。学習指導要領の改訂によって、道徳の教科化や外国語教育の重視、プログラミング教育等の充実がもたらされる昨今、現場に要求されることが大変多くて一層困惑しています。未来の担い手である子どもたちに、それらの力を身につけさせることはもちろん大切だと思います。一方で、日々の業務に追われており、教材と向き合うための十分な時間をつくれていないことに悩みを感じています。

このような課題に対応していくためには、長尾彰夫さんが述べられているように「お互いの教育実践の課題と成果を話し合い、知恵と工夫を交流していくことが必要」であり、組織教研が「子どもを中心とした」教研活動であり続けることが大切だと思います。同じ悩みや課題を共有できる環境を整えるとともに、協働・切磋琢磨できる仲間と関係を築いていくことによつて、様々な壁にぶち当たることがあっても、乗り越えていけるのだらうと感じました。私の所属する美方郡教職員組合も、毎年教研活動が続けています。分会の域を越えて、いろいろな考えを語り合うことができ、また、日々の教育実践に活かすこともできるのでたいへん勉強になっています。

このように、これからの学校現場は今まで以上に広い視野を持ち、子どもと接する教職員が繋がりが合い、学び合い、高め合うことが重要だと考えさせられました。そのためには、自分から進んで教研活動に参加すること、そして、そこで学習したことを活かして目の前にいる子どもたちのために尽くしていくことを大切にしていきたいです。（美方）

W H O は 3 月 11 日 に 中 国 湖 北 省 を 発 端 に 広 が り 続 け る 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス に 対 し て パ ン デ ミ ッ ク だ と 表 明 し ま し た 。 そ れ に 先 立 ち 、 安 倍 首 相 は 2 月 27 日 に 全 国 の 小 中 学 校 と 高 校 、 特 別 支 援 学 校 に 臨 時 休 業 を 要 請 し ま し た 。 さ ら に 4 月 7 日 に は 、 兵 庫 県 を 含 め た 7 都 道 府 県 に 対 し 、 緊 急 事 態 宣 言 を 発 出 し ま し た 。 16 日 に は 、 全 国 に 広 げ よ う と 協 議 に 入 っ た こ と が 報 道 さ れ て い ま す 。

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス に よ る 休 業 措 置 で 児 童 生 徒 の 多 く は 、 ス ト レ ス を た め て 生 活 を し て い ま す 。

「親も子どもストレスをためて、本当にしんどい。5月7日に再開されるのなら、頑張れるけど、それすら見えてこない」とある保護者から聞いた言葉です。それぞれの学校も家庭訪問もできないため、児童生徒の様子を知るのには電話連絡のみとなっており、教職員もストレスを抱えた生活を送っています。

そんな中で、富永先生の書かれた文章は、学校が再開されたときに有効に活用できると感じました。今回紹介されたワークシートを上手に活用して、教職員一人ひとりが児童生徒の心に寄り添い、スムーズに学校が再開できるようにしたいと思っていました。（教育ひょうご No. 2000号参照）

また、今回のトラウマ体験が何らかの刺激により、フラッシュバックした場合の対処も参考にしたいと思っています。私自身、養護教員をしているので保健室での対応等に参考になることも多かったのです。ありがとうございました。

次号の授業紹介も楽しみにしています！（佐用）

「教研活動は労働運動と対をなす、車の両輪のひとつである」このことは、どの組合員も言葉としては知っています。ですが、現実問題として、日々の多忙感の中で、教研活動について腰を落ち着けてじっくりと考える時間的な余裕と精神的な余裕を、皆が奪われています。組合活動の重要性を認識し日々の諸とくみに積極的にとりくまれている組合員の方の中からも、教研活動に対しての負担感を訴える意見を聞くことが増えています。残念ながらそういった現状がある中で、各々がどのようにして教研活動に向き合うべきなのか、どういったとりくみが可能なのか、さらに具体的に考えていく必要性を感じました。地域組合の教研集会の運営に携わる中では、特に青年部層にむけて



あじさい
丹波市立青垣小学校 3年
堀 あきは

（こどもの詩と絵 第40集より）

の語り継ぎの機会をもつことの重要性も認識しました。

本来、教研活動は、私たち教職員にとって楽しいものであるはずですが、自身の関わる児童の顔を思い浮かべ、その実態をもとに理論を活用しながら「このように展開したらわかるかな」「次はこうしてみよう」と考える。実践し、児童の「わかった！できた！」を、ともに喜ぶ。実践の成果と課題を教職員間で交流する中で、さらに自身の力量を高

める。皆、こういった自身の姿を思い描いて、教職員を志したはずですが、今回、特集記事を読むことは、教研活動に対する自身の考えを、改めて整理、更新する非常に有意義な機会になりました。教研活動について、の意義を、分会単位で一から啓蒙していくことにも努めるとともに、私自身も、時間の捻出が困難な今だからこそ、工夫を重ね、日々の実践を大切にしながら、自己研鑽に努めたいと思います。（明石）

学校・園再開をむかえた 教職員のみなさんへ

国による緊急事態宣言が解除され、6月から学校・園が再開され、たいへん多忙な日々を送られていることと思います。

今回の新型コロナウイルス感染症への対応は、私たち教職員にとってこれまで経験したことがありません。第2波の流行も想定されるなか、学校・園が再開され、それぞれの立場で不安を感じているのではないのでしょうか。「3密」を避けるための様々な対応がもたらされていること、臨時休業期間の補充授業への対応など、通常とは異なる勤務環境となることから、私たち教職員も不安感の増大等による心的ストレスが知らず知らずのうちに蓄積することが予想されます。とりわけ、このような環境での勤務は基礎疾患をお持ちの方、妊娠されている方、育児・介護をされている方にとって、不安は計り知れないものです。

阪神・淡路大震災当時、何もマニュアルがない中で被災者・子どもたちに寄り添い対応してきたのが、私たち教職員です。あれから25年、震災の教訓として、「心のケア」の重要性が語り継がれてきました。一方、当時の対応のなかで心身の疲労の蓄積による教職員のバーンアウトも報告されています。

緊急時は、目の前の対応に追われてしまい、周囲に気配りする余裕がなくなります。困っていても周囲に相談することをためらってしまうこともあるでしょう。このような状況だからこそ、個の力ではなく、お互いに声をかけ合って想いを共有していくことが大切です。特に、経験の浅い教職員をはじめ、養護教員・事務職員・栄養教員等の少数職種の方の困り感も含め共有することが必要です。そして、現場での困り感や要望は分会で話し合い、教職員組合に声を届けてください。県教委・地教委に対し意見反映をおこない、改善をもとめてとりくみます。

兵庫の教育現場ではたらく教職員として、すべての人の人権に配慮し、子ども・教職員の安全・安心を第一に、みなさんの協力・協働のもと、この危機を乗り越えていきましょう。

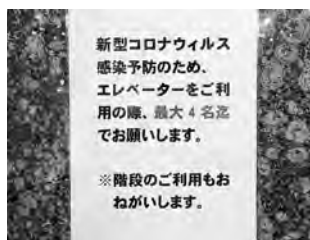
2020年5月25日

兵庫県教職員組合

ラッセホール 新型コロナウイルス 感染対策！

- ・アルコール消毒の実施（エントランス、各階に常備）
- ・テーブルや椅子など、手の触れる場所の除菌
- ・フロントスタッフのマスク着用
- ・フロント、レジカウンターをパテーションで仕切り、飛沫・接触感染のリスクを軽減
- ・エレベータ内でのソーシャルディスタンスの実施
- ・換気の徹底
- ・ランチのサラダ・フルーツを個別に提供（サラダバーの中止）

等をおこなっております。



感染症拡大防止に
ご協力ください



ラッセホールでは、皆様に安全・安心にご利用していただくために、新型コロナウイルス感染症対策をおこなっております。

安心してご利用ください。